

砺波地区ふるさと教育推進委員会

◆事業の目的

増山城跡は平成21年7月に国指定史跡として認可され、城址が所在する地元住民の中では機運が高まり、地元自治会が中心となり戦国祭りを開催するまでに至っている。この城跡は、歴史を学ぶことができる財産だけに留まらない、価値を秘めた資源であり、市民全員が関心を持つ宝にするため、市民がわかり易い資料作成及び地区の枠組みを超え連携した公民館活動を展開する。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月5日(日)	増山城跡遊歩道整備協働草刈り活動	増山城跡	80人
8月3日(水)	増山城跡フィードバック活動(学習会)	庄川生涯学習センター	155人
8月23日(火)～	となみ山城マップ作成作業(学習資料作成)	砺波市庄川支所	24人
9月下旬～	増山城跡フィールドワーク広報活動	各地区	250人
10月28日(金)	増山城跡フィールドワーク広報活動(給食の日)	庄東小学校	250人
10月30日(日)	増山城跡フィールドワーク(増山城戦国祭り)	増山城跡	1,200人

◆事業の様子

☆ 増山城跡事前調査 増山城跡遊歩道整備協働草刈り活動

増山城跡の現地確認と保全をするために実施した。砺波市では、市民1人1ボランティアを推奨しており、ボランティアとして市内の多くの地域から参加があった。



☆ 増山城跡フィードバック活動(学習会)

公民館を支える専門部員が一堂に会する会議にて「ふるさと教育」に主眼を置き、各地域の情報交換を行いその必要性や今後の展望を共有し、砺波市として今後の目指すべき方向性等を再確認した。



☆ となみ山城マップ作成作業(学習資料作成)

各地区公民館から様々な意見を出し合い編集することにより、専門的ではなく、一般市民目線で特に公民館事業参加者(児童生徒からお年寄りまで)を意識して、簡易な言葉や近隣の城跡情報を掲載し、より身近で興味がわくものにできた。



☆ 増山城跡フィールドワーク広報活動(増山城戦国祭り給食の日)

「増山城戦国祭り給食の日」として、戦国時代にまつわる献立の給食を市内の幼稚園と小中学校で実施した。



☆ 増山城跡フィールドワーク(増山城戦国祭り)

国指定史跡の認定を機に開催された増山城戦国まつりを砺波市全域での取り組みへと広げることを目的に10月30日(日)に実施した。



◆事業の成果と課題

市内地区公民館の連携が一層深まり、市内の史跡(国指定)への誇りと愛着を市民全域(地区民)に芽生えさせることができた。

砺波市内の公民館では、それぞれの地域に根付いた地区活動やさまざまな事業が実践されている。その中には単独公民館の事例としておくにはもったいないものもある。ふるさとを共通のテーマにこれまでの事業に新たな視点で光を当て、事業を見直していく取り組みが必要である。